

夏の学校は、学部生や大学院生などの若手研究者が一堂に会し、応用動物行動学を牽引する講師陣や同世代の仲間など、年齢や分野の垣根を超えて交流する合宿形式の研究会です。
先端の研究を学ぶだけでなく、グループディスカッションを通じて研究の楽しさを発掘したり、応用動物行動学について語りあったりする場を提供します。大学や学会では味わうことのできない魅力がそこにはあります。

応用動物行動学 夏の学校

講師・テーマ

- ・エンカレッジレクチャー
- ・楠瀬 良 (日本養訓蹄協会・元「元」総研)
「動物の行動を通して何をみるか」
- ・研究レクチャー

河合正人 (帯広畜産大学)
「北海道の林間放牧地、

アフリカの野草地、南米の牧草地」

森村成樹 (京都大学) の熊本サンクチャー」

「飼育下と野生のチンパンジーの生活」

その福祉と保全」

加瀬 ちひろ (千葉科学大学)

「野生動物を対象とした行動学的研究の面白さ」

伊藤 秀一 (東海大学)

「動物の行動調査法を考える」

・キャリアパスセミナー

新村 毅 (基礎生物研究所)

「研究者として生き抜くために必要なもの」

加瀬 ちひろ (千葉科学大学)

「シエネラリストな研究者」

2014年8月29日 (金) 13:00 ~ 30日 (土) 12:00

阿蘇くじゅう国立公園南阿蘇ビジターセンター (熊本県阿蘇郡)

受講対象者…どなたでも参加できます。

(宿泊・ペンションフラワーガーデン)

参加費

無料 (宿舎も含む)

食費: ¥1,600

懇親会費: 学生 ¥0

ポストク以上 ¥6,000

申込方法

[締切] 7月31日 (木)

氏名・所属・身分・連絡先を明記の上

summer2014@jsaab.org

まで申込みください。